

## 岩手県

### (1) 事業実施期間

平成20年6月26日（木）から平成20年7月7日（月）の12日間

### (2) 運営スケジュール

図表 1 運営スケジュール（岩手県）

日程	内容
6月26日（木）	車輛搬入 県庁舎前での展示
27日（金）	イオン盛岡南ショッピングセンターでの展示
28日（土）	県立児童館「いわて子どもの森」での展示、体験乗車
29日（日）	県立児童館「いわて子どもの森」での展示、体験乗車 水素充填
30日（月）	奥州市立水沢小学校でのエネルギー・環境学習 水素充填
7月1日（火）	県立黒沢尻工業高校でのエネルギー・環境学習、体験乗車 県立北上翔南高校でのエネルギー・環境学習、体験乗車
2日（水）	矢巾町立矢巾東小学校でのエネルギー・環境学習 水素充填
3日（木）	県立水沢工業高校でのエネルギー・環境学習、体験乗車
4日（金）	盛岡市立下小路中学校でのエネルギー・環境学習、体験乗車 水素充填
5日（土）	道の駅「遠野風の丘」での展示
6日（日）	盛岡競馬場「OROパーク」での展示
7日（月）	車輛搬出

### (3) 実施内容

#### 体験同乗会

期間中に23名の体験試乗、214名の体験同乗、計237名の乗車体験があった。

図表 2 体験同乗者の概要（岩手県）

実施日	概要	対象者	試乗者数	同乗者数
6/28	展示・体験乗車会 (県立児童館いわて子どもの森)	来館者等	2	21
6/29	展示・体験乗車会 (県立児童館いわて子どもの森)	来館者等	3	28
7/1	エネルギー・環境学習 (県立黒沢尻工業高校)	生徒、教職員等	2	59
	エネルギー・環境学習 (県立北上翔南高校)	生徒、教職員等	2	43
7/3	エネルギー・環境学習 (県立水沢工業高校)	生徒、教職員等	2	48
7/4	エネルギー・環境学習 (盛岡市立下小路中学校)	生徒、教職員等	2	15
合計			13 (10)	214

※) 運転は県の職員のみ。( )は表に記載のない展示会等の実施のため運転した人数。

#### ○展示・体験乗車会（いわて子どもの森）

実施日：平成20年6月28日（土）、29日（日） 場所：県立児童館「いわて子どもの森」（岩手県一戸町） 対象：来館者等 試乗コース：1.5km×21回
--

#### ○エネルギー・環境学習（黒沢尻工業高校）

実施日：平成20年7月1日（火） 場所：県立黒沢尻工業高等学校（岩手県北上市） 対象：生徒、教職員等 試乗コース：450m×20回
--

#### ○エネルギー・環境学習（北上翔南高校）

実施日：平成20年7月1日（火） 場所：県立北上翔南高等学校（岩手県北上市） 対象：生徒、教職員 試乗コース：300m×15回
--

○エネルギー・環境学習（水沢工業高校）

実施日	平成20年7月3日（木）
場所	県立水沢工業高等学校（岩手県奥州市）
対象	生徒、教職員等
試乗コース	600m × 16回

○エネルギー・環境学習（下小路中学校）

実施日	平成20年7月4日（金）
場所	盛岡市立下小路中学校（岩手県盛岡市）
対象	生徒、教職員等
試乗コース	150m × 6回

## 展示会

期間中「岩手県庁」、「イオン盛岡南ショッピングセンター」、「県立児童館 いわて子どもの森」、「道の駅 遠野風の丘」、「盛岡競馬場OROパーク」で展示会を実施した。

○岩手県庁庁舎前での展示

開催日	平成20年6月26日（木）
場所	岩手県庁（岩手県盛岡市）
来場者数	約200名
内容	燃料電池自動車及び啓発パネルの展示、パンフレットの配布

○イオン盛岡南ショッピングセンターでの展示

開催日	平成20年6月27日（金）
場所	イオン盛岡南ショッピングセンター（岩手県盛岡市）
来場者数	約100名
内容	燃料電池自動車及び啓発パネルの展示、パンフレットの配布

○いわて子どもの森での展示・体験乗車会

開催日	平成20年6月28日（土）、29日（日）
場所	県立児童館 いわて子どもの森（岩手県一戸町）
来場者数	約200名
内容	燃料電池自動車及び啓発パネルの展示、パンフレットの配布 （時間を区切り体験乗車会も実施している。）

○道の駅遠野風の丘での展示

開催日	平成20年7月5日（土）
場所	道の駅 遠野風の丘（岩手県遠野市）
来場者数	約300名
内容	燃料電池自動車及び啓発パネルの展示、パンフレットの配布

○盛岡競馬場OROパークでの展示

開催日	平成20年7月6日（日）
場所	盛岡競馬場OROパーク（岩手県盛岡市）
来場者数	約300名
内容	燃料電池自動車及び啓発パネルの展示、パンフレットの配布

小中学校及び高等学校へのエネルギー・環境学習の概要

県内の小学校2校、中学校1校、高等学校3校を訪問し、児童・生徒を対象に、燃料電池自動車を題材としたエネルギー・環境学習を行った。

○小学校

実施校	奥州市立水沢小学校	矢巾町立矢巾東小学校
開催日時	6月30日（月）8：00～15：15	7月2日（水）13：00～16：00
対象児童数 （ ）は参加教諭数	6学年4クラス：146名（4名）	6学年2クラス：79名（3名）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDを用いた燃料電池自動車の仕組みや効果についての学習。</li> <li>・燃料電池自動車の見学。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人環境パートナーシップいわてによる、主に地球温暖化防止をテーマとしたエネルギー・環境学習を併せて実施。</li> <li>・水沢小学校では地域の事業者の協力によりBDF使用車の展示を併せて実施した。</li> </ul>	

○中学校

実施校	盛岡市立下小路中学校
開催日時	平成20年7月4日（金）16：00～18：30
対象生徒数 （ ）は参加教諭数	科学部：13名（1名）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDを用いた燃料電池自動車の仕組みや効果の学習。</li> <li>・燃料電池自動車の実験キットを用い、電気分解による水素発生や燃料電池自動車の仕組み等の学習。</li> <li>・燃料電池自動車の見学。</li> <li>・燃料電池自動車の体験乗車。</li> </ul>

○高等学校

実施校	県立黒沢尻工業高校	県立北上翔南高校	県立水沢工業高校
開催日時	7月1日（火） 9：30～15：30	7月1日（火） 16：00～18：00	7月3日（木） 13：00～15：45
対象生徒数 （ ）は参加教諭数	電気科 1～3年：115名 (20名)	美化委員会：38名 (7名)	自動車工学コース 2、3年：37名 (10名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDを用いた燃料電池自動車の仕組みや効果についての学習。</li> <li>・燃料電池自動車の見学。</li> <li>・燃料電池自動車の体験乗車。</li> </ul>		
その他	黒沢尻工業高校では3年生（39名）のみ体験乗車を実施。また、昼休み時間を利用し、全校生徒（750名）及び教職員を対象に燃料電池自動車の展示を実施。		

#### (4) 事業の周知方法

事業概要を県ホームページに掲載するとともに、県メールマガジン「いわてイーハトーブ環境通信」、県広報ラジオ番組「いわて希望メール」により周知を行った。

事業概要について県政記者クラブへ資料提供を行った。これにより、新聞3社(延べ5回)、テレビ1社、ケーブルテレビ2社で報道していただいた。

県ホームページ掲載記事



**岩手県**  
Iwate Prefecture Web Site

**燃料電池自動車の展示会、体験乗車会を行います(6月26日～7月6日)** 2008年06月19日

県では、環境に優しい次世代の自動車である燃料電池自動車について、広く一般の方々に知っていただくため、環境省と共同で、6月26日(木)から7月6日(日)の間、県内各地で燃料電池自動車の展示会や体験乗車会を行うこととしております。

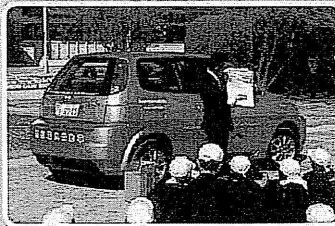




地球温暖化の原因とされる二酸化炭素や窒素酸化物などの大気汚染物質を排出しない燃料電池自動車に触れる又とない機会ですので、多くの皆さまのお越しをお待ちしております。

**■ 展示会、体験乗車会スケジュール**

月日	時間	場所	内容
6月26日(木)	12時～15時	県庁前駐車場	展示会
6月27日(金)	10時～15時	イオン盛岡南ショッピングセンター駐車場	展示会
6月28日(土)	10時～15時	いわて子どもの森	展示会・体験乗車会
6月29日(日)	10時～15時		
6月30日(月)			
7月 1日(火)			
7月 2日(水)			
7月 3日(木)			
7月 4日(金)			
7月 5日(土)	10時～15時	道の駅 遠野風の丘	展示会
7月 6日(日)	10時～16時	盛岡競馬場オーロパーク	展示会

燃料電池自動車への体験乗車は6月28日、29日のいわて子どもの森でのみ行います。  
体験乗車は人数に制限があります。あらかじめご了承ください。

**■ 展示・体験乗車会、環境・エネルギー学習の様子**

**関連ファイルダウンロード**

 [燃料電池自動車啓発推進事業\(環境省\)](#) pdf 4.36MB

電話: 019-629-5273  
内線番号: 5273  
FAX: 019-629-5279  
E-Mail: AC0005@pref.iwate.jp

[このページの先頭に戻る](#)

岩手県庁 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号 電話番号 019-651-3111(総合案内) [アクセス](#)

お問い合わせ / 重要電話番号一覧 / よくある質問 / 個人情報取り扱い / コンピュータセキュリティ / リンクについて

Copyright Iwate Prefecture Government All Rights Reserved.  
当ホームページで利用している全てのデータの権利を厳格に守ります。

★★ いわてイーハトーブ環境通信 (64号) ★★

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心に  
お伝えするメルマガです。環境という広範囲な話題を  
皆さんにとって身近に感じられるように、  
その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。

・\*:・° ★<sub>10</sub>・\*:・° もくじ ・\*:・° ★<sub>10</sub>・\*:・° ☆

1. 特集：北海道洞爺湖サミット
2. 環境学習交流センター7月のご案内
3. 燃料電池自動車の展示会、体験試乗会を行います
4. ネイチャーゲームリーダー養成講座  
～あなたも「自然案内人」に～
5. ホタルを覗いて ネイチャーゲーム
6. 親父ってこんなにすごい！  
親父と子どものアドベンチャー大作戦 2008in 平庭高原
7. 第62回全国レクリエーション大会 in いわて 種目別交流大会
8. ツキノフグマによる人身被害防止について
9. CO2ダイエット日記のご案内
10. 県産産廃いわてだより
11. 県内のイベント情報
12. ブックレビュー
13. 編集後記

・\*:・° ★<sub>10</sub>・\*:・° ☆・\*:・° ★<sub>10</sub>・\*:・° ☆・\*:・°

■□■  
3. 燃料電池自動車の展示会、体験試乗会を行います  
■□■

県では、燃料電池自動車について広く一般の方々に知っていただくため、  
環境省と共同で、県内各地で燃料電池自動車の展示会等を行っています。  
地球温暖化防止や大気汚染防止に役立つ次世代技術である燃料電池自動車に  
触れる数少ない機会ですので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

展示会のスケジュールは、次のとおりです。

- 7月5日(土)  
時間：10時～15時  
場所：道の駅 遠野風の丘
- 7月6日(日)  
時間：10時～16時  
場所：盛岡競馬場オーロパーク

詳細については、県庁資源エネルギー課のHPに掲載しておりますので  
ご確認ください。

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=310&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=59&pnp=264&pnp=310&cd=11969>

☆-----☆

- 本メールマガジンの転送を歓迎します。  
お知り合いの方にも購読をお勧め下さい。  
購読登録ホームページはこちら。  
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0315/mailmag.htm>
- 本メールマガジンには著作権が存在します。  
本誌の記事を転載される場合には 発行人まで、ご連絡ください。
- 自治体の皆様の情報、原稿をお寄せください。  
環境に関する話題、イベント情報、ホームページ情報、  
地域の環境保全などに取り組む団体の紹介等を掲載させて頂きます。  
下記まで原稿を送付下さい。(テキスト形式でお願いします)

\*\*\*\*\*  
編集・発行：環境学習交流センター  
<http://www.aiina.jp/environment/index.html>  
原稿及びご意見・お問合せは 下記までどうぞ  
E-mail: [eco@aiina.jp](mailto:eco@aiina.jp)  
Fax 019-606-1753  
\*\*\*\*\*

# 県政記者クラブ提供資料

平成20年6月20日

県政記者クラブ各位

環境生活部資源エネルギー課

## 燃料電池自動車啓発推進について（お知らせ）

燃料電池自動車について広く県民に知っていただくため、環境省の協力を得て、6月26日から7月6日の間、県内各地で展示や体験乗車を県として初めて実施することとしましたのでお知らせします。

記

### 1 目的及び内容

- ・ エネルギー効率が高くCO<sub>2</sub>等排出しないため地球温暖化防止及び大気汚染防止が期待できる次世代技術の燃料電池自動車が、実用段階に達しつつあることを広く県民にお知らせし、環境・エネルギーに関する意識啓発を行う。
- ・ 県内の小中学校及び高等学校を訪問し、燃料電池自動車を題材としたエネルギー・環境教育を行う。
- ・ 訪問対象に応じ、DVD視聴、パネル展示、のぼり、啓発用パンフレットの配布など活用しながら説明や試乗など効果的に行う。
- ・ 小中学校と子供の森に関しては、環境学習広報車エコカーゴも対応する。

### 2 燃料電池自動車

- ・ ホンダFCX1台を環境省から借り受ける。
- ・ 走行距離：1回の水素充填で300km走行可能である。
- ・ 価格等：リースの場合月80万円、販売はされていないものの購入の場合は推定で1億円ほどとする。
- ・ 水素充填ステーション：首都圏8カ所、中部地区1カ所、大阪地区2カ所のみで、岩手を含め東北地域にないことなど水素供給インフラにまだ課題がある。

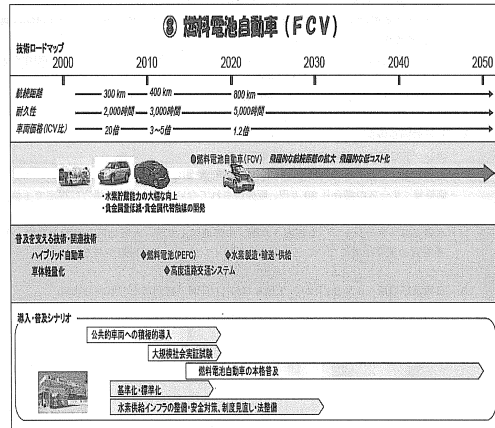
- 3 日程及び場所 6月26日から7月6日の11日間 盛岡市など県内6市町  
別紙日程表のとおり

【担当：エネルギー技術担当特命課長 吉田博 内線5272】

### 【日程表】

月日	時刻	場所	内容	対象
6/26(木)	9:00~10:00	県庁車庫	車両受取り	—
	12:00~15:00	県庁	展示・啓発	県民、県職員等
6/27(金)	10:00~15:00	イオン盛岡南SC	展示・啓発	県民
6/28(土)	10:00~15:00	いわて子どもの森	展示・啓発、体験乗車	県民
6/29(日)	10:00~15:00	いわて子どもの森	展示・啓発、体験乗車	県民
6/30(月)	8:40~14:40	奥州市立水沢小学校	展示、子供向け環境教育	6年生
	10:30~15:30	県立黒沢原工業高校	展示、子供向け環境教育	電気科1~3年生
7/1(火)	16:00~17:30	県立北上彌南高校	展示、子供向け環境教育	—
7/2(水)	13:50~15:25	矢巾町立矢巾東小学校	展示、子供向け環境教育	6年生
7/3(木)	13:30~15:00	県立水沢工業高校	展示、子供向け環境教育	自動車工学2年・3年
7/4(金)	16:30~18:00	盛岡市立下小路中学校	展示、子供向け環境教育	科学部
7/5(土)	10:00~15:00	道の駅遠野風の丘	展示・啓発	県民
7/6(日)	10:00~16:00	盛岡競馬場	展示・啓発	県民
7/7(月)	13:00~15:00	県庁車庫	車両引渡し	—

【参考資料】燃料電池自動車開発のロードマップ（経済産業省 エネルギー革新技術計画から）



# これが燃料電池自動車 県内で巡回展示

県は二十六日、水素で走る燃料電池自動車「ホンダFCX」の展示を県庁前で始めた。七月六日まで県内を回り、環境保全をPRする。



県庁前に展示された燃料電池自動車

県庁前には正午から三時間展示され、職員や市民が興味深そうに環境省所有の車を眺めた。

燃料電池自動車は、水素と酸素の反応により発生した電気エネルギーでモーターを動か

す。排ガスが出ないため次世代低公害車として期待される。

FCXは水素1立方メートルで約10キロ、満タンでは約300キロ走行可能。最高速度は150キロで乗車定員四人。ガソリン車と比べて性能

は見劣りしないが、水素の製造や貯蔵、供給、燃料電池の性能など普及には課題も多い。

車両価格は約一億円(推定)。二〇一五年ごろに普及できるかどうか、めどが立つという。

二十八、二十九の両日は一戸町奥中山のいわて子どもの森で県職員が運転して体験乗車も予定。学校では生徒を対象にした環境教育を行う。

他の展示会場は次の通り。

- ▽27日 イオン盛岡南ショッピングセンター
- ▽30日 水沢小▽7

- 月1日 黒沢尻工高、高▽4日 下小路中▽
- 北上翔南高▽2日 矢5日 道の駅遠野風の
- 中東小▽3日 水沢工 丘▽6日 盛岡競馬場

## 「1億円」燃料電池車 体感を

実用段階が間近の燃料電池自動車を広く知ってもらうと、県は推進事業を進めている。

体験乗車は二十八、二十九の両日、一戸町のいわて子どもの森で「FCX」一台を借り受けた。七月六日まで県内各地で体験乗車や展示のイベントを行う。

水素をエネルギーとするFCXは一回の補給で三百キロの走行が可能。価格は推定一億円で、リースでも月額八十万円かかる。

地球温暖化や大気汚染の防止に向け、環境省では啓発



「環境やエネルギーについて関心を持ってもらいたい」と話している。



盛岡タイムス 6月27日朝刊掲載記事

# 燃料電池自動車をPR

## 県内巡り環境啓発訴え

エネルギー効率が高く二酸化炭素など地球温暖化防止や大気汚染防止の効果が期待される燃料電池自動車啓発推進事業が26日、県内で始まった。環境省から借り受けた燃料電池車が県内各地で展示され、環境啓発に活用される。

同日は県にホンダFCX1台が引き渡され、県庁前広場に展示。27日以降はショッピングセンターや道の駅、盛岡競馬場などに展示されるほか、県内の学

校を訪問。28、29日はいわて子どもの森に展示され、体験乗車もできる。

燃料電池車は水素と空気中の酸素の反応によって発生した電気エネルギーを動力源としてモーターを駆動して走行する。ガソリン車など内燃機関と異なり、走行中は有害な排気ガスを出さない。次世代型の低公害車の一つ。出荷台数はまだ限られているが、日本メーカーでは2015年の普及開始を目指して

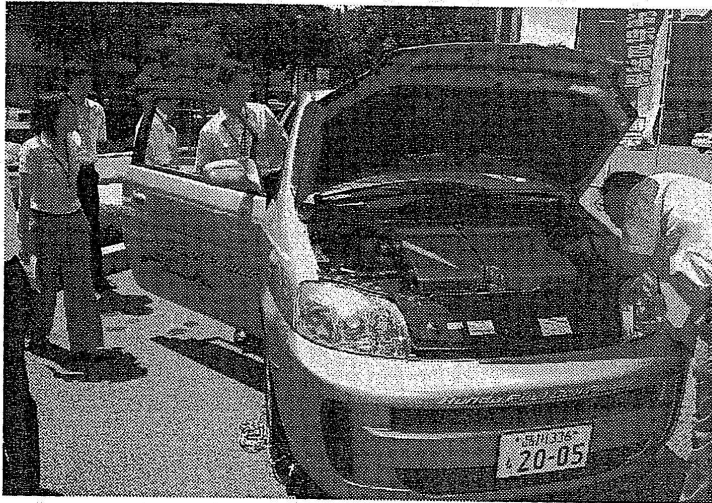
県が借りたのは4人乗りの乗用車。最高速度は150キロ。350気圧の高圧水素タンクは156・6リットル、300キロ程度の走行ができるという。始動させても音は小さく、動いているのかどつか分からないほどだ。

フロントにモーターなどを搭載、車体の底部に燃料電池と水素ボンベを据え付けている。ガソリン車のよう

のような長時間の充電は不要で、短時間で補給できる。

課題としては燃料電池の寿命の延命化といった技術開発と同時に、水素を供給する水素ステーションがガソリンスタンドのように整備され、不自由なく補給できるかどうか。東北ではまだ一カ所もない。市場参入が本格化するときの価格帯も不透明な部分がある。

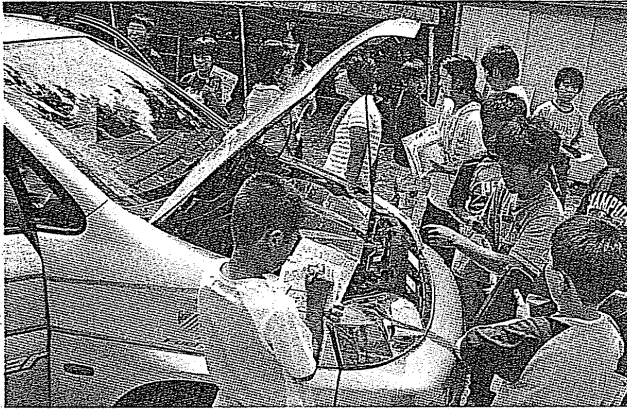
県内では6市町を回るが、水素は矢巾町の企業に水素タンク搭載車が来て、供給するという。



県内を啓発して回る燃料電池車

# 燃料電池車ってすごい！

## 奥州 水沢小で環境学習



奥州市水沢区の水沢小、六年生百四十六人が、六月三十日、次世代エネルギーをテーマにした環境学習が開かれた。燃料電池自動車の展示やVD鑑賞、講話が行われ、環境生活部資源エネルギー課の金澤清光技師が講師を務めた。講話を深めたのは、地球温暖化や大気汚染を抑制する研究開発に理解され、児童は講話や体験乗車を通じてそれぞれの車両の特徴を学んだ。

燃料電池車は、水素と大気中の酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使い、モーターを回して走る。石油以外の多様な燃料が利用できるだけでなく、Vエネ（V）効率が高いV二酸化炭素などを排出しないV電気自動車のような長時間の充電が不要などの利点がある。半面、走行距離や寒冷地での使用、車両や周辺部品の製造に伴うコスト面で課題を抱える。金澤技師が「現在の車両一台環境学習で燃料電池自動車を見学する水沢小6年生

一課の金澤清光技師。同日は燃料電池車とハイオクディーゼル燃料車が用意され、児童は講話や体験乗車を通じてそれぞれの車両の特徴を学んだ。

る驚きの声が上がった。直ぐに安くなれば、この菊地隆太君は「車を動かすエネルギーは石油だけだと思っていた。燃料電池車が発電していいば、地球環境も守られていいと思う」と感想を話していた。本田勇真君は「ガソリンが高いとみんな言っている。問題点が

直ぐに安くなれば、この車に乗りたい」と胸を膨らませていた。金澤技師は「将来、燃料電池車が市販される時、きょうの子供たちも車を運転していると思う。各自動車メーカーの研究開発に興味を持ってもらい、地球環境を考え

るきっかけにしてほしい」と期待していた。環境学習は、燃料電池車について広く県民に知ってもらおうと、県が環境省の協力を得て初めて実施。六月二十六日から今日六日まで、県内の六市町で行われている。

# 最先端技術に触れる

## 黒工高で燃料電池の授業 北上

北上市の県立黒沢尻工業、北上翔南両高校で一日、次世代エネルギーとして注目を浴びる燃料電池の特別授業が行われた。水素と酸素の化学反応で動く燃料電池自動車

の試乗などを通じて環境問題と、最先端モーター技術への理解を深めた。このうち、十九年度から経済産業省のエネルギー実践校指定を受け、燃料電池の学習や実験をし

ている黒沢尻工高では、電気科一・二・三年生が授業に参加した。県環境生活部資源エネ

ルギー課の金澤清光さんから燃料電池の原理や必要性、仕組みなどを教わり、発電時に二酸化炭素を発生しない、有害物質を発生させずに水しか出ないことなど、地球温暖化を抑制する技術を理解した。

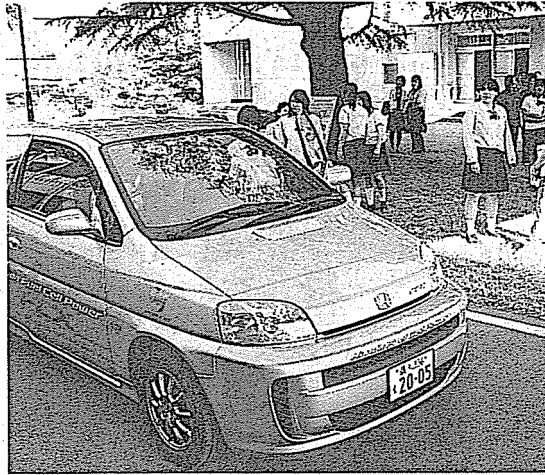
続いて、生徒が燃料電池自動車に試乗、自動車の構造をガソリンで動く車と比較しながらその特徴を学び、「ガソリンと水素はどちらが高いか」「燃料電池車の値段は」「満タンでの走行距離は」などと質問していた。

「高い技術を知ることができ、授業に参加できて良かった」と感想を話した。同学習は、県と環境省が共同の燃料電池車普及推進事業を開催しており、県内の学校や自治体などで実施されている。

及川深佑君（三年）は「車は静かに動き、加速が早く、体に重さを感じた。エコロジーに関心があるので水素を取り入れ



試乗などで燃料電池自動車に関心を深める黒沢尻工高の生徒



燃料電池自動車に試乗する北上翔南高の生徒

## 電池自動車 理解深める 北上翔南高で授業

北上市相去町の北上翔南高(佐藤利行校長、生徒七百十一人)で一日、燃料電池自動車「ホンダFCX」を学ぶ特別授業が開かれた。生徒はビデオや試乗を通して次世代の低公害車に理解を深めた。

北上市相去町の北上翔南高(佐藤利行校長、生徒七百十一人)で一日、燃料電池自動車「ホンダFCX」を学ぶ特別授業が開かれた。生徒はビデオや試乗を通して次世代の低公害車に理解を深めた。

と教師約四十人が参加した。燃料電池車は水素と酸素の反応で発生した電気でモーターを動かす。排ガスを発生しないが、燃料電池のコストや燃料の水素供給に課題がある。

美化委員長の菊地夢さん(三年)は「音が静かで普段乗る車と全く変わらない乗り心地だった」、副委員長の及川あいさん(同)も「燃料電池車が普及していけば、温暖化の解決にもつながると実感した」と話していた。

同日は北上市村崎野の黒沢尻工高でも特別授業が行われた。

県と環境省の啓発事業の一環。美化委員会

(5) 利用の様子

県庁舎前での展示 6月26日(木)



イオン盛岡南ショッピングセンターでの展示 6月27日(金)



道の駅「遠野風の丘」での展示 7月5日(土)



盛岡競馬場「OROパーク」での展示 7月6日（日）



県立児童館「いわて子どもの森」での展示・体験乗車 6月28日（土）、29日（日）



水沢小学校でのエネルギー・環境学習 6月30日（月）



矢巾東小学校でのエネルギー・環境学習 7月2日（水）





下小路中学校でのエネルギー・環境学習、体験乗車 7月4日（金）



黒沢尻工業高校でのエネルギー・環境学習、体験乗車 7月1日（火）



北上翔南高校でのエネルギー・環境学習、体験乗車 7月1日（火）



水沢工業高校でのエネルギー・環境学習、体験乗車 7月3日（木）

